

# 平成26年度 学校関係者評価書

学校名 和歌山市立有功小学校 校長名 小林 達史 作成日 平成27年 3月12日

学校教育目標 健康で豊かな人間性をそなえ、楽しく取り組める子ども

## ・育てたい子ども像

生命を大切にする子

仲良く力をあわせる子

進んで勉強する子

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力	食に関する教育の推進
本年度の重点目標	<p>地域・家庭・学校が連携を深め、相互に協力をしやすい体制を築いていく。</p> <p>保護者や地域の方が学校に親しみを感じ、学習活動や学校行事に参加しやすい学校づくりをめざす。</p>	<p>児童理解をより一層心掛け、コミュニケーションを豊かにし、よりよい人間関係作りに努める。</p> <p>子どもに寄り添った指導をめざす。</p> <p>「食と健康」の取組や道徳教育等を通して、豊かな心を培い、「仲良く力をあわせる子」「生命を大切にする子」の育成をめざす。</p>	<p>課題解決学習を中心に、児童が楽しくわかる授業を推進していくために、授業の改善に努める。</p> <p>自ら進んで学習する子の育成をめざす。</p> <p>特別支援教育を充実させ、ひとり一人にあった学習方法をめざす。</p> <p>「うちどく」の推進を図る。</p>	<p>自らの望ましい食生活について考え、健康的な生活を実践できる子どもの育成をめざす。</p> <p>今年度は、2年間の研究の成果を発表していく。その聖火を広く広報していくようにする。</p>
取り組みの状況に対する意見	<p>学校だよりの出し方についての意見がありました。昨年度の指摘を取り入れて、紙面の読みやすさの取り組みがよかったという評価をもらった。</p>	<p>学校での取り組みについては、概ね賛同して頂くことが出来た。</p> <p>情報リテラシーに対する取り組みの質問があった。</p>	<p>取り組み方に対しては、「有功タイム」の使い方についての質問があった。</p> <p>学習のめあてについての指摘があった。</p>	<p>給食を含めた「食と健康」の取り組みに対して、体験活動を多く取り入れることに高評価を得た。</p>
取り組みの成果と課題に対する意見	<p>地域の方は、インターネットのホームページより、まだ広報誌の方が良く読まれている。読みやすいようにこれからも工夫して欲しいという要望があった。</p> <p>ホームページの工夫が、あまりできなかった。</p>	<p>保護者の子どもとの関わり方を改善していくように、もっと働きかける必要があると課題を指摘してもらった。</p> <p>スマートフォン等の使い方の指導が必要と指摘された。</p>	<p>新設の有功タイムは、基礎的な力、読み取る力、時間内に書く力の向上に使っていて、少しずつ成果があることを説明した。</p> <p>家庭教育との連携をもっと取るようにとの意見を頂いた。</p>	<p>箸の持ち方、茶碗の持ち方の指導を是非して欲しいという要望があった。</p> <p>アレルギーのある児童に対する取り組み方についてのご意見を頂いた。</p>
改善方法に向けての意見	<p>来年度も、広報誌に関しては続けていくようにすると答えた。</p> <p>読みやすいように紙面の工夫する配慮を続ける。</p> <p>地域との連携を深めていく組織を整備するようにしていく。</p>	<p>親の教育力を高めていくために、積極的に働きかけていくようにする。</p> <p>子どものSOSを地域、学校、保護者みんなで受け止められるように、互いの連絡を密にするようにしていく。</p>	<p>授業の在り方を子どもが楽しく学べるように工夫していく。</p> <p>指摘されたように、子どもが笑顔になるような授業を目指して、教師の力量を高めていくようにする。</p> <p>家庭との連携を深める工夫をしていく。</p>	<p>来年度も、しっかりと「食と健康」を実践していき、保護者の家庭での取り組みも促していく。</p> <p>食器や箸の持ち方の指導も取り組んでいくようにする。</p>

## ・その他のご意見

- ・学校安全について、地域、保護者、学校が一体になって取り組んでいく。特に、放課後の公園等の安全について取り組む。
- ・登下校時の保護者の送り迎えについて、もっと厳格な態度でしていくようにする。